

豊田PCB廃棄物処理事業だより(No.65)

1. 豊田PCB廃棄物処理施設の運転状況について

豊田PCB廃棄物処理施設(豊田施設)は、安全操業によりPCB廃棄物処理を継続しており、8月の処理実績は下表のとおりです。

なお、当施設では8月21日から設備を順次停止し、24日から夏期定期点検を実施し、設備の安全性を確認しました(定期点検については裏面参照)。

運転状況の紹介として、小型トランスの受入状況の写真を掲載しました。

21年8月の操業実績

種 別		受入台数	抜油・解体台数
コンデンサ類		387 台	255 台
トランス類	大 型	3 台	3 台
	小 型	21 台	12 台
	車 載 型	1 台	1 台
廃PCB等		4 個	4 個

※ 受入後、一時保管してから計画的に処理ラインに投入するため、受入台数と抜油・解体台数に差が生じます。



運搬容器に収納された小型トランスの受入



運搬容器から取り出したインナートレイ中の小型トランスの受入検査

2. PCB廃棄物の9月の受入計画

21年9月の受入計画(予定)

種 別		受入台数
コンデンサ類		414 台
トランス類	大 型	3 台
	小 型	25 台
	車 載 型	3 台
廃PCB等		4 個

9月のPCB廃棄物の受入計画は、左表のとおりです。

コンデンサ類は、少量保管事業者(保管台数が20台未満の事業者)を中心に、豊田市内の事業者から13台、愛知県内から337台、岐阜県内から9台、三重県内から10台、静岡県内から45台、を受け入れる予定です。

大型・小型トランス類は、愛知県内から20台、岐阜県内から8台、車載型トランスは静岡県内から3台を受け入れ、ドラム缶に入っているPCB油(廃PCB等)は、愛知県内から4個を受け入れる予定です。

なお、8月28日には愛知県幡豆郡全域と額田郡幸田町の少量保管事業者を対象に幡豆郡吉良町にて受入・処理に関する説明会を実施しました。

3. 安全への取り組み



装着訓練の様子

(1) ライフゼム装着訓練の実施

8月3日と10日の2日間、豊田南消防署 西分署から4名の方に来所頂き、ライフゼム(空気呼吸器)の装着訓練を実施しました。

この訓練は、昨年も実施しておりますが、前回都合により受講できなかった人を中心として41名が参加しました。

ライフゼムは、万が一の事故時等において人員の救出・避難の際に有害ガス等の吸入を防ぐ為に使用します。しかし、正しい使用方法を知らないと機能しません。

今回ご指導を頂いた内容を忘れないように、万が一使用の必要が生じた場合には、正しく活用していきます。

但し、根本的にはライフゼムを使用する状況にならないよう施設の安全管理を十分に行ってまいります。

【前ページからのつづき】



安全パトロールの様子

(2)安全パトロールの実施

安全に作業が行われているかを確認するために、定期点検(4. 参照)中に、点検・工事業者とともに安全パトロールを行いました。

今回のパトロールは、工事状況を巡視し、高所での安全帯着用、定められた保護具の着用、処理棟内での専用靴使用などを重点に、週1回計2回実施しました。

いずれも安全には十分配慮して点検・工事が行われていましたが、工具、部品等の整理が不十分な点があり、注意喚起して直ちに改善しました。

今後とも、こうしたパトロールにより、点検・工事の安全性を確認していきます。

4. 夏期定期点検の実施

今年の夏期定期点検は8月24日から開始し、9月4日まで行いました。

定期点検を行うにあたり、まず点検開始1週間前(17日)に、弊社と点検業者全社(下請け業者を含めて21社)が一堂に会して『災害防止協議会』を開き、①点検期間中の安全作業・安全対策の徹底についての共通認識 ②毎日の点検実施状況の周知と報告の実施 等について、お互いに確認を行いました。

24日からの点検では、①解体設備、②洗浄設備、③排気処理設備、④液処理設備(無害化処理設備)等を対象に、設備の安全性・健全性を確認しました。

また点検期間中には、豊田施設が今後も安全で、安定したPCB処理を維持できるよう、設備の修繕や排気処理設備の活性炭交換等も行いました。

点検終了後は、順次設備を立ち上げて、安全に運転できることを確認してから9月9日に操業を再開します。



災害防止協議会の様子



小型トランス解体エリア コンベアのメンテナンス



真空加熱設備 副反応槽レベル計の点検清掃

連絡先

日本環境安全事業株式会社(JESCO)

(連絡先) 豊田事業所 0565-25-3110

【豊田事業HP】 <http://www.jesconet.co.jp/facility/toyota/index.html>